本年度スポーツ文化活動で活躍した人たちを表彰

生涯学習の推進と教育力の向上願い

教育振興大会で誓い合う

第二十六回教育振興大会は二月十六日、生涯学習の推進と家庭・地域の教育力の向上を願い村自然休養村管理センターで行われました。教育関係者や父母ら約百五十人が出席し、生涯学習への取り組みや、家庭、地域の教育力の向上、教育環境の整備充実に向け取り組むことを誓い合っていました。

大会は、村生涯学習推進会議（議長・深渡宏村長）、村教育振興運動推進委員会（下道裕一委員長）などが主催。

村生涯学習推進会議議長の深渡村長が「あらゆる分野で、生涯にわたって、学習する機会をつくり、生きがいのある人生をおくってください」とあいさつ。下道委員長は、「家庭、学校、地域が連携して学校完全週五日制に合わせた教育の在り方をみんなで探りましょう」とあいさつしました。

引き続き実践発表が行われ、「豊かな心を養う」ことを大きなテーマに、掘内小、黒崎小の二実践区が発表。読書の大切さを実感する実践や海に親しむ活動を積極的に推進、地域の豊かな自然を愛護する心を育てる活動など、それぞれの地区の特徴を生かし、家庭・学校・地域が一体となって頑張ってきた一年間の活動が堂々と紹介されました。

盛岡市立厨川中学校の山本詔夫校長が「学校週五日制で求められる家庭・地域の教育力」と題して講演。「子どもたちには遊びが大事、知識だけでは社会に対応できない。本物を体験することで生きる力が養われていく」と語り、これからの子育てで大切にしたいことは「地域の人たちや親類など、多くの人と関わりを持たせること」などをあげ、実際に体験したことを交えながら、人と人のつながりの重要性を力説しました。

大会に先立ち行われた表彰式では、村学校教育などに功績、功労のあった二団体・二個人、全国や県レベルの文化・スポーツ大会で活躍した六団体・十六個人を紹介し表彰しました。

第26回 普代村教育振興大会 活躍した人、紹介します。

◆功績・功労

〔個人〕▼社会教育（婦人教育）　佐藤ツネ（村婦人団体連絡協議会長）＝婦人団体活動や婦人教育に尽力された功績

▼社会体育（指導者）　高橋徹（村体育指導委員協議会長）＝地域指導者の中心となり、各種体育行事の運営やスポーツ推進に尽力された功績

〔団体〕▼学術文化（芸術文化）　普代中学校神楽同好会（中野流鵜鳥七頭舞保持団体）＝昭和六十二年から村の行事、都心でのPR活動や全国中学校文化連盟舞台部門で県代表、第一回県中学校総合文化祭舞台部門におおとりとして出演、高い評価を得るなど芸術文化の振興に貢献した功績

◆感謝状

〔団体〕▼教育行政（施設整備）　中村建設株式会社代表取締役　中村弘三＝村民テニスコートなど、社会体育施設の修理修繕や環境整備に私財を投じて、教育行政の推進に尽力された功労

◆小学生の部

〔個人〕　佐々木千鶴（普代小五年）＝平成十四年度久慈地区小学校陸上記録会走り幅跳び優勝　佐々木愛莉香（同一年）＝毎日新聞社、毎日小学生新聞、日本児童画振興会主催全国児童画コンクール金賞　澤田奈津季（掘内小二年）＝県土地改良事業団体連合会主催平成十四年度小中学生による「美しく豊かな村づくり」絵画コンクール（小学校低学年の部）銀賞　赤坂友翼（同）＝同（同）銅賞　坂上将平（同四年）＝同（同中学年の部）銅賞　坂上耕陽（同六年）＝同（同高学年の部）銀賞　赤坂夏海（同五年）＝平成十四年度交通安全ポスターコンクール（同）最優秀賞　小中居茜（同四年）第五十二回〝社会を明るくする運動〟作文コンテスト県更正保護婦人連合会長賞

〔団体〕　掘内小学校（代表・箱石恵美子校長）＝平成十四年度県学校歯科保健表彰優秀校　鳥茂渡小学校（代表・澤口邦善PTA会長）＝三陸花と水の回廊整備事業第二回小・中・養護学校花づくり活動コンクール優秀賞　鳥茂渡小学校四・六年生（澤口卓哉代表・五年）＝県教育弘済会主催平成十三年度第十七回いわて文集まつり優秀賞（平成十四年八月表彰）　黒崎